

●診療科紹介

リウマチ膠原病の外来や入院での診療を行う。

昨年末でリウマチ疾患を担当していた総合診療科医長の退職に伴い同科通院患者の引継ぎがあった。

●主な診療内容

<診断・治療> 診断、治療、経過観察。

治療は抗リウマチ薬、グルココルチコイド、免疫抑制剤、生物学的製剤などの内科治療。

<外来>

週3回リウマチ科の外来（一回は腎臓内科と同時）。

うち1回（木曜日午前）は、岡山大学派遣医師（常勤医師5名が交代で診察）

治療疾患：関節リウマチ、SLE、強皮症、多発/皮膚筋炎、シェーグレン症候群、MCTD、

ベーチェット病、IgG4 関連疾患、リウマチ性多発筋痛症

病診連携：病状が落ち着いている患者はかかりつけ医と連携。

難治例・困難例は岡山大学病院と連携。

<入院>

入院治療が必要な場合は、当科で治療。入院時の主治医以外の担当医として腎臓内科医があたる場合あった。

●スタッフ

医長 太田 康介（腎臓内科と兼任）

非常勤医師 岡山大学医師 5 名（同院講師、助教）

●実績（令和4年度）：リウマチ科外来診療患者

<入院> 9 例（延べ人数）

関節リウマチ	6 例	全身性エリテマトーデス	1 例
--------	-----	-------------	-----

ベーチェット病	1 例	IgG4 関連疾患	1 例
---------	-----	-----------	-----

* 入院は初回治療（副腎皮質ステロイドなど）、合併症治療、生物学的製剤投与（短期入院）

<院内連携>

他科入院、外来患者の併診（循環器、呼吸器、総合診療、整形外科、皮膚科、眼科など）

●教育

ベッドサイドなどでの on job training、内科カンファレンスでの講義

●研究・学会活動

日本リウマチ学会教育施設

●治験・臨床研究など